



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 ホシザキ株式会社

コード番号 6465 URL <http://www.hoshizaki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 坂本 精志

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 本郷 正己

TEL 0562-96-1320

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	137,471	5.0	20,907	16.8	15,395	△19.3	9,523	△16.3
27年12月期第2四半期	130,962	11.5	17,893	17.1	19,072	30.5	11,377	29.0

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 1,852百万円 (△83.9%) 27年12月期第2四半期 11,526百万円 (41.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	131.51	—
27年12月期第2四半期	157.22	156.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第2四半期	280,233	173,961	61.1	2,366.29
27年12月期	273,655	176,545	63.5	2,400.96

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 171,353百万円 27年12月期 173,864百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	60.00	60.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	265,000	1.9	34,200	7.8	28,600	△7.3	17,800	4.9	245.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 詳細につきましては、[添付資料]P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無
 詳細につきましては、[添付資料]P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期2Q	72,415,250 株	27年12月期	72,415,250 株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	799 株	27年12月期	695 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期2Q	72,414,487 株	27年12月期2Q	72,366,453 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成28年7月29日発表の連結業績予想から変更はございません。なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細につきましては、[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内の経済環境は、経済政策、金融施策の実施等により、企業業績や雇用・所得環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、個人消費は足踏み状態が続き、今後の景気動向は不透明感が増しました。

海外におきましては、米国の景気は堅調に推移いたしました。中国や新興国の経済成長鈍化等が見られ、欧州ではイギリスのEU離脱問題により景気の先行き不透明感が増しました。また、為替は更に円高が進みました。

このような環境のなか、当社グループは、国内では、引き続きフードサービス産業への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に取り組みました。

海外では、米国を中心に、主要販売先であるフードサービス産業において、設備投資が堅調に推移したことを背景に、主力製品の拡販に努めました。なお、グループをあげて、原価低減に加えITを活用した業務の効率化や生産性の向上に努め、利益の確保に継続的に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,374億71百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益209億7百万円（同16.8%増）、経常利益は、円高が進んだことに伴い、保有外貨等の円換算評価による為替差損59億64百万円の計上等により153億95百万円（同19.3%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は95億23百万円（同16.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

日本におきましては、業務用冷蔵庫や製氷機、食器洗浄機等の拡販並びに新規顧客への積極的な営業活動を展開してまいりました。その結果、売上高は941億88百万円（前年同期比6.0%増）、セグメント利益は141億1百万円（同13.9%増）となりました。

②米州

米州におきましては、製氷機や業務用冷蔵庫等の拡販を推進してまいりましたが、為替の影響を受け、売上高は312億56百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は52億78百万円（同4.4%減）となりました。

③欧州・アジア

欧州・アジアにおきましては、主力製品の積極的な拡販に努めてまいりました。その結果、売上高は157億3百万円（前年同期比10.1%増）、セグメント利益は17億39百万円（同42.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ65億77百万円増加し、2,802億33百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ80億48百万円増加し、2,196億11百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、現金及び預金の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ14億70百万円減少し、606億21百万円となりました。主な要因は、のれんの減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ91億62百万円増加し、1,062億71百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ100億8百万円増加し、871億40百万円となりました。主な要因は、未払法人税等、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ8億46百万円減少し、191億30百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ25億84百万円減少し、1,739億61百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期の連結業績予想につきましては、平成28年7月29日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	148,950	149,043
受取手形及び売掛金	27,942	34,784
商品及び製品	13,049	12,647
仕掛品	3,511	3,042
原材料及び貯蔵品	8,721	8,295
その他	9,484	11,929
貸倒引当金	△95	△131
流動資産合計	211,563	219,611
固定資産		
有形固定資産	45,126	43,433
無形固定資産		
のれん	3,534	2,919
その他	5,622	4,948
無形固定資産合計	9,157	7,867
投資その他の資産	7,807	9,321
固定資産合計	62,092	60,621
資産合計	273,655	280,233
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,856	17,670
未払法人税等	4,075	6,390
賞与引当金	3,284	4,016
その他の引当金	1,359	1,281
その他	52,556	57,783
流動負債合計	77,132	87,140
固定負債		
退職給付に係る負債	13,597	13,644
その他の引当金	1,285	1,122
その他	5,093	4,364
固定負債合計	19,977	19,130
負債合計	97,109	106,271

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,993	7,993
資本剰余金	14,516	14,516
利益剰余金	148,313	153,491
自己株式	△1	△2
株主資本合計	170,822	175,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	209	81
為替換算調整勘定	2,708	△4,854
退職給付に係る調整累計額	124	126
その他の包括利益累計額合計	3,042	△4,645
非支配株主持分	2,681	2,608
純資産合計	176,545	173,961
負債純資産合計	273,655	280,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	130,962	137,471
売上原価	79,054	82,834
売上総利益	51,908	54,636
販売費及び一般管理費	34,014	33,729
営業利益	17,893	20,907
営業外収益		
受取利息	219	280
受取配当金	19	9
為替差益	894	—
その他	219	284
営業外収益合計	1,352	574
営業外費用		
支払利息	125	39
為替差損	—	5,964
その他	47	82
営業外費用合計	173	6,086
経常利益	19,072	15,395
特別利益		
固定資産売却益	45	8
特別利益合計	45	8
特別損失		
固定資産売却損	7	23
固定資産廃棄損	12	16
減損損失	—	11
特別損失合計	19	51
税金等調整前四半期純利益	19,097	15,352
法人税、住民税及び事業税	10,389	8,516
法人税等調整額	△2,747	△2,988
法人税等合計	7,642	5,527
四半期純利益	11,455	9,824
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	301
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,377	9,523

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	11,455	9,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77	△127
為替換算調整勘定	△21	△7,846
退職給付に係る調整額	15	2
その他の包括利益合計	71	△7,972
四半期包括利益	11,526	1,852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,322	1,834
非支配株主に係る四半期包括利益	203	17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,097	15,352
減価償却費	2,671	2,326
のれん償却額	1,136	403
賞与引当金の増減額 (△は減少)	733	779
受取利息及び受取配当金	△238	△290
為替差損益 (△は益)	△842	5,667
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,346	△8,873
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,188	△1,085
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,931	3,140
未払金の増減額 (△は減少)	△1,391	△1,292
未払費用の増減額 (△は減少)	6,942	7,457
前受金の増減額 (△は減少)	884	631
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△894	△533
その他	251	446
小計	21,745	24,128
利息及び配当金の受取額	230	224
利息の支払額	△122	△37
法人税等の支払額	△6,005	△6,178
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,848	18,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△92,930	△101,947
定期預金の払戻による収入	89,673	86,072
有形固定資産の取得による支出	△2,751	△2,661
無形固定資産の取得による支出	△49	△144
投資有価証券の取得による支出	△1,710	△2,268
投資有価証券の償還による収入	500	500
信託受益権の純増減額 (△は増加)	△123	△157
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,128	—
その他	1,084	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,438	△20,598
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△191	△251
配当金の支払額	△3,615	△4,342
その他	49	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,757	△4,640
現金及び現金同等物に係る換算差額	△240	△3,174
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,412	△10,277
現金及び現金同等物の期首残高	51,769	64,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,182	54,544

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州・アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	87,021	31,042	12,898	130,962	—	130,962
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,833	558	1,359	3,751	△3,751	—
計	88,855	31,600	14,257	134,713	△3,751	130,962
セグメント利益	12,382	5,522	1,222	19,126	△1,233	17,893

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,233百万円には、のれんの償却額△1,062百万円、無形固定資産等の償却額△400百万円、棚卸資産の調整額99百万円、その他セグメント間取引の調整等129百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州・アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	92,175	30,760	14,535	137,471	—	137,471
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,013	496	1,168	3,677	△3,677	—
計	94,188	31,256	15,703	141,149	△3,677	137,471
セグメント利益	14,101	5,278	1,739	21,120	△212	20,907

(注) 1. セグメント利益の調整額△212百万円には、のれんの償却額△243百万円、無形固定資産等の償却額△193百万円、棚卸資産の調整額△43百万円、その他セグメント間取引の調整等267百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。